

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	○理念の共有と実践 ・法人理念「人権尊重・地域共生・誠実なる運営」、基本方針「あなたらしさ100%」をもとに、入居者様の望む暮らし、当たり前前の暮らしが実現できるように努めているが、全スタッフが同じ姿勢で取り組んでいる状況までには至っていない	○全スタッフが法人理念、基本方針をしっかり理解し、同じ姿勢で目標に向かい、支援に取り組める環境を作る	①入居者様の支援の方向性や課題について検討する際には、法人理念、基本方針を常に意識ながら、話し合いを行った上で決定をする ②新任研修時だけでなく、ミーティング等で、定期的に法人理念、基本方針について振り返ることができる機会を作る	12ヶ月
3	20	○馴染みの人や場との関係継続の支援 ・本人がこれまで通われていた美容院やスーパー、馴染みの人との関係を継続したい思いはあるが、人員状況の関係や段取りができない場合があり、近場の利用しやすい施設を利用していたり、情報があっても実践につながる情報が少ない状況である	○入居者様が「あなたらしさ100%」で過ごしていただけるように、これまでの馴染みの場所に出席したり、馴染みの人に会える環境を増やしていく	①人員の調整、また、どう段取りすれば実践できるかを考え、突発的な実践が難しくければ、前もって予定として組んでおく等して、少しずつでも実践できるように取り組む ②入居者様の馴染みの場所、人を知るための、本人へのアセスメント、家族来訪時等に関わりを持ちながら訊くことを行う	12ヶ月
4	53	○日常的な外出支援 その日、その時間帯の人員状況や、入居者様の状態に合わせた支援等が入ることにもより、日常的な外出に十分に組み立てていない状況がある	○入居者様の望む暮らしを実現できるように、日常的な外出に対して、希望があるタイミング等で無理なく出掛けられる場面を増やしていく	①人員の調整、また、どう段取りすれば実践できるかを考え、突発的な実践が難しくければ、前もって予定として組んでおく等して、少しずつでも実践できるように取り組む	12ヶ月
2	26	○チームでつくる介護計画とモニタリング ・計画作成担当者が計画作成に充てる時間が十分にとれない場合もあり、計画作成や見直しが遅れたり、予定通り進めることが出来ていない状況がある。その為、状態変化がみられた入居者様に対して、現状にあった介護計画書になっていない場合もある ・作成した介護計画書について、内容の理解とその実践が十分に出来ている状況には至っていない	①介護計画書、モニタリングの作成が滞ることなく、入居者様の現状に合った介護計画書の作成を行う ②スタッフが介護計画書内容を理解し、意識してその実践につなげることができる環境を作る	①介護計画書、モニタリング作成が遅れることがないように、計画作成担当者の作成に充てる時間の確保に努め、できる限り勤務に反映させる ②入居者様のアセスメント、介護計画書の作成について、計画作成担当者のみでなく、全スタッフ協力して、積極的に取り組める環境を作る(アセスメント表の回覧と記入、計画内容のアイデア出し等) →作成に積極的に関わることで、意識向上に繋げる	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。